



現場から（最近のニュースから）

人生の意味



暑い中、仕事に家事に勉強に、日常に追われて過ごしている人が多いでしょう。自分の目標のため、家族のためなど、なにかのためにがんばっておられるかもしれません。しかし、実際に著名人、大富豪になった人が「生きていて虚しい」と感じるという事実をご存じでしょうか。ストレス・マネジメント専門家の舟木彩乃さんは「人生に意味を求めると、どれだけ恵まれた人でも、生きることが虚しくなると、『首尾一貫感覚』で逆境に強い自分をつくる方法』（河出書房新社）に書いているという記事がありました。

舟木さんは、心理学者のヴィクトール・E・フランクルの心理学について語っています。人間は、理想や夢を持って、理想がモチベーションになったり、夢を生きがいにするのですが、その理想や夢に近づけば充足感を感じ「人生に意味がある」と思える一方で、理想や夢から離れていく状態にあれば「こんな人生に意味はあるのか」と嘆くことになってしまうということです。それは、自分の夢や理想を叶えてほしい、そのための環境や運を与えてほしいと“自分を中心に人生に対して期待している”からだということです。それゆえ、フランクル心理学では、人は“人生の意味”を問う存在ではなく、“人は人生から問われ、その問いに答える存在である”としているそうです。このように発想を転換すると、私たちは常に人生から問いかけられていることに気づくようになると言われます。人生から問われるのは、人生を左右するような大きな出来事が起こったときばかりではなく、日常で些細なことに会ったとき、たとえば、通勤電車で体調が良くない人を見かけたとき、同僚がその場にはいない社員の悪口で盛り上がっているとき、人は人生から「あなたはどうしますか？」と問いかけられているということです。その問いが具体的な人生の意味となり、その中で、あなたにしかできない具体的な使命を発見するようになるということです。そのように、人生からの問いに答えようとしていると、新しい人生の意味を見つけることができるということです。

具体的に、人生からの問いを発見する方法、答えを見つける方法が記事にはありましたが、ポイントとして、「◎日常的な出来事の中に「人生からの問いかけ」がある ◎人生からの問いに対し、どんな行動をなんのために選択するのか、そのときの感想や気づいたことをメモや日記帳に書きためる」ことがありました。（7月9日 PRESIDENT Online <著名人や大富豪でも「生きていて虚しい」と感じるのはなぜか…現代人が囚われやすい「夢」や「理想」の怖さ>より）

毎日、その日を振り返って、自分の人生からの問いかけを聞き、それに対する自分自身の考え、行動をチェックしていくことによって、新しい人生の意味を見つけるようになるということでしょう。ただ、自分で自分のことをチェックしている以上、自分の枠からは出ていないのです。そして、人間は自分では「分かっていないこと」のほうが多く、自分の枠の中で検討していても本当の答えはないのです。自分でチェックしていると、自分を中心に人生に対して考える枠から出ることはできません。人間が中心ではないことについて、また、「人間とは何であり、何のために生きるのか」ということについて、あなたにお伝えしたいことがあるのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぼっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちに苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からのいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください